

フリーダム揭示板

安威川水系で楽しく自然体験!!

いばらき環境ポイント(Spt)プレゼント!!

探してみよう! 川の生きもの
日時=7月22日(土)・午前9時30分~正午

- 場所=安威川・桑ノ原橋付近(大字桑原・桑原バス停から徒歩10分)
- 対象=小学4年~6年生とその保護者のペア
- 定員=先着25組50人
- 内容=水生生物の捕獲と観察

- 備考=ぬれても良い服装で参加
- 申込=7月3日から、FAXまたはメール(講座名・保護者と児童の氏名・学年・住所・電話番号・駐車場(先着15台)利用希望の有無を記入)で、環境政策課(FAX)627-0289、(メール)e-seisaku@city.ibaraki.lg.jp
- 問い合わせ先=環境を考える市民ネットワークいばらき 石山090-5014-8288



自然学習会 in 大正川
日時=8月5日(土)・午前9時30分~11時30分

- 場所=大正川・天王小学校前
- 対象=市内在住・在勤者(小学生以下は保護者同伴) ■定員=先着80人
- 内容=淡水魚などの捕獲と観察
- 備考=ぬれても良い服装で参加
- 申込=7月3日から、FAXまたはメール(講座名・代表者氏名・住所・電話番号・参加者人数を記入)で、環境政策課(FAX)627-0289、(メール)e-seisaku@city.ibaraki.lg.jp
- 問い合わせ先=環境を考える市民ネットワークいばらき 石山090-5014-8288

郵便はがき

567-0813

62円切手をはってね

大阪府茨木市大住町8-11
大阪府安威川ダム建設事務所
安威川の「むし」
イラスト 大募集 係

氏名(ふりがな) _____

学校名 _____ 年齢(学年) _____

住所 _____

電話番号 _____ メールアドレス _____

安威川ダムからのお知らせ

安威川ダム周辺の自然を体感しませんか?



ビオトープ活動
安威川ダムのビオトープにてもち米つくりや生きもの観察などを行います(毎月2回実施)



道普請(みちふしん)
安威川ダム近くの自然豊かな散策路をみなさんと一緒に整備しています

活動にご興味、ご関心のある方はぜひご連絡ください。
問合せ:安威川ダム建設事務所 TEL:072-626-6164

安威川ダムは完成に向けて現在工事中です

大阪府安威川ダム建設事務所ホームページ
<http://www.pref.osaka.lg.jp/aigawa/>

安威川ダムおよび周辺のファンづくり会の情報サイト
<http://www.aigawa.jp/>

大阪府 安威川ダム建設事務所

〒567-0813 茨木市大住町 8-11
TEL: 072-626-6083 FAX: 072-623-5963 E-mail aigawa-dam-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp
この冊子は2万部作成し、1部あたりの単価は35.1円です。平成29年(2017年)7月発行

安威川



2017
平成29年
Vol.6

フリーダムとは、英語で自由という意味。自由で楽しい水辺の環境をみんなで守っていきましょう。

あいがわ自然史博物館 虫たちは樹液が大好き



山から町まで、安威川にはさまざまな木や草花が生えています。なかでも、樹液を出しているクヌギには虫たちがたくさん集まってきます。樹液とは、木の中に住む虫が木を傷つけたところからしみ出した、あまい汁のことです。6~8月、安威川沿いの山や林道では、樹液に集まって来るさまざまな虫と出会えます。

みなさんがよく知っているカブトムシやクワガタムシ、カナブン、日本の国蝶として有名なオオムラサキも樹液が大好き。どの虫も樹液に夢中になっているので、近づいて観察するのも簡単です。

でも、クヌギの樹液はスズメバチも大好物。うっかり近づくとあぶないので、注意して近づきましょう。

もちろん、大人といっしょに!

安威川ダムのまわりにはクヌギをはじめ、いろんな木が生えています。安威川が育てる豊かな森林を大切に、虫たちが暮らしやすい環境を守っていききたいですね。



自然観察には、子どもたちだけで行ってはいけません。必ず大人といっしょに出かけましょう。また、ひとりで動くことはとても危険です。運動に適した服装で、ぼうし・水とう・救急セットも忘れずに。



安威川で虫をさがしてみよう!!



ここには色や形で見分けやすい虫をあげています。
虫たちには、それぞれに好きな場所があるので
いろんなところに出かけて、さまざまな虫を見つけましょう。



説明の意味
●ハンミョウ → 名前
6~7がつ → 観察できるとき
18~20ミリ → 大きさ

山道やキャンプ場

「権内水路・青少年野外活動センターなど」

- センチコガネ 5~10がつ 15~22ミリ
- ハンミョウ 6~7がつ 18~20ミリ
- タマムシ 7~8がつ 30~40ミリ
- カマドウマ 6~10がつ 20~25ミリ
- オサムシのなかま 6~8がつ おおきさはさまざま
- カミキリムシのなかま 6~8がつ おおきさはさまざま

早朝や夕暮れの里山や森

「竜王山・大岩周辺など」

- カブトムシ 6~8がつ 32~53ミリ
- ヒラタクワガタ 5~9がつ 25~75ミリ
- ミヤマクワガタ 6~9がつ 40~78ミリ
- ツクツクボウシ 7~9がつ 29~31ミリ
- ヒグラシ 6~9がつ 29~38ミリ
- 大きなガのなかま 4~9がつ おおきさはさまざま

昼の里山や森

「竜王山・地蔵ヶ池ジョギングコースなど」

- アオカナブン 6~8がつ 22~27ミリ
- オオムラサキ 6~8がつ 45~60ミリ
- ノコギリクワガタ 7~9がつ おおきさはさまざま
- スズメバチのなかま 4~10がつ 27~37ミリ

里山の中・上流

「見山の郷・桑ノ原橋付近など」

- オニヤンマ 6~10がつ 95~100ミリ
- カラサゲハ 4~9がつ 55~65ミリ
- カゲロウやカワゲラのなかま 5~10がつ 13~25ミリ
- ミヤマアカネ 6~11がつ 32ミリ
- ゲンジボタル 5~7がつ 10~16ミリ
- カワトンボのなかま 5~9がつ 55~65ミリ
- ブユの仲間 3~9がつ 3~5ミリ

草原

「元茨木川緑地など」

- バッタのなかま 7~11がつ おおきさはさまざま
- キリギリス 6~9がつ 40ミリくらい
- カマキリのなかま 8~11がつ 40~90ミリ
- コオロギのなかま 8~11がつ 15~33ミリ
- シジミチョウのなかま 4~10がつ 15~18ミリ
- テントウムシのなかま 4~10がつ 5~8ミリ

川沿いの道

「西河原公園や安威川の遊歩道など」

- ケラ 4~9がつ 30~50ミリ
- カメムシのなかま 4~10がつ おおきさはさまざま
- モンシロチョウ 3~11がつ 25~30ミリ
- アブのなかま 4~11がつ おおきさはさまざま

ため池やビオトープ ゆるい流れの川

「下音羽川・耳原公園・松沢池など」

- シオカラトンボ 4~10がつ 50~55ミリ
- コシアキトンボ 6~9がつ 40~45ミリ
- イトトンボのなかま 4~10がつ 33~46ミリ
- ミズカマキリ 5~9がつ 40~45ミリ
- タイコウチ 5~9がつ 30~40ミリ

街中の川

「大正川・高瀬川親水水路など」

- アメンボ 3~10がつ 11~16ミリ
- ギンヤンマ 5~11がつ 70ミリ
- ハグロトンボ 6~10がつ 60ミリ
- さまざまなトンボのヤゴ ねんじゅう おおきさはさまざま

観察のポイント

草や木の葉の裏にかくれていたり、朝・昼・夜と現れるときがちがつたり。草や花、実や樹液など、好きな食べものもさまざまです。まず、観察したい虫をインターネットなどで調べておけば、お目当ての虫と出会うチャンスが広がります。

公園や街中の植えこみ

「上穂積公園・水尾公園など」

- クマゼミ 6~8がつ 40~48ミリ
- アブラゼミ 7~9がつ 36~38ミリ
- コガネムシ 6~8がつ 17~24ミリ
- ハナムグリ 5~9がつ 16~25ミリ
- カナブン 6~8がつ 22~30ミリ
- シジミチョウのなかま 4~10がつ 15~18ミリ
- アゲハチョウ 4~10がつ 40~45ミリ
- ハムシのなかま 5~7がつ 5~10ミリ
- テントウムシのなかま 4~10がつ 5~8ミリ

安威川の「むし」イラスト大募集!

安威川には、たくさんの虫たちがすんでいます。夏休みの思い出に、自分で虫を見つけて、絵にしましょう。

- 応募資格：小学生以下のみ
- 応募内容：下のハガキに「むし」の絵を描いてください。色えんぴつ、サインペンなど描くものは自由です。
- 特典：
 - ①応募者全員に「安威川ダムカード」と「いばらき環境ポイント(2pt)」をプレゼント
 - ②応募作品は、2017年11月12日にある安威川フェスティバルで展示
 - ③優秀作品は、フェスティバルで表彰、副賞をプレゼント
- 締切：2017年09月29日(金)
- 応募方法：62円切手をはって、イラストを描いたハガキを投函してください。
- ★切手不要の募集箱は、下記に設置しています。安威川ダム建設事務所5階、茨木市環境政策課(市役所本館2階・15番窓口)

注意 虫がいる場所は危険な生きものも住んでいます。スズメバチやムカデ、マダニ、マムシなどがひそんでいたりします。必ず大人といっしょに、安全に楽しく観察しましょう。
イラスト=小村一也・西山美月・馬場玲子・弘岡知樹 監修=池田哲哉